

**平成24年度 第2回 東京都地方独立行政法人評価委員会
高齢者医療・研究分科会議事概要**

1 日 時

平成24年7月6日（金曜日） 午後3時00分から午後4時23分まで

2 場 所

東京都庁第一本庁舎33階北側 特別会議室N3

3 出席委員

高久分科会長、河原委員、近藤委員、鈴木委員、南委員（分科会長を除き、五十音順）

4 議 題

- (1) 平成23年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務実績報告等について
- (2) 平成23年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務実績評価（案）について
- (3) 平成23年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの財務諸表等について

5 報告事項

- (1) 第二期中期目標（案）の修正について
- (2) 今後の評価スケジュールについて

6 議事概要

開会

- (1) 平成23年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務実績等について
○健康長寿医療センターから、平成23年度の業務実績（資料1）について報告

【質疑応答・委員意見】 ※太字ゴシックが委員意見

- **骨粗鬆症のオーダーメイド治療は病院部門と研究所が連携して行っているのか。**
(健康長寿医療センター回答)
⇒そのとおり。
- **t-P A治療について、従来までは発症後3時間までだったが、4時間半まで可能と示された。センターもこれに倣って4時間半まではt-P A治療をおこなっているのか。**
(健康長寿医療センター回答)
⇒保険適用が3時間までなので、3時間までということにしているが、4時間程度なら積極的に行なっている。
- **利益目標はあるのか。**
(健康長寿医療センター回答)
⇒新病院への移行に向け、医療機器の整備や情報システムの導入等での多額の支出が見込まれる中で、利益が出るように計画は立てている。平成23年度は診療報酬の改定がな

かったため、コスト削減の効果が大きかった。

- (2) 平成23年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務実績評価(案)について
○事務局より、資料2, 3の説明

【質疑応答・委員意見】 ※太字ゴシックが委員意見

- 本業務実績評価は、評価の尺度が他の病院等との比較ではないため、全国水準以上の医療・研究を行っていても、前年度並の実績であるとB評価になってしまうため、評価がどうしても厳しくなってしまう。
- 年度毎の評価について、医療・研究の内容によっては1年で成果がでないものもあるため、項目によって中・長期的に評価をしていくことも必要である。
- 新施設でのシステム構築にあたり、医療の質に関する様々な指標が検討されているが、経営面については質を計る指標として有効に作用するが、医療の質については指標だけだと一面しかみられないことがある。しかし、医療の質の向上や院内での医師間の治療方法の違いを標準化するツールとして利用することは有効である。
- 国の政策目標でもある地域連携について、国は診療報酬算定加算対象にするなど地域連携の必要性を重視しているが、トップマネジャーはイニシアチブを発揮して、国の方針に呼応した病院運営を積極的に推進していくべきである。

- (3) 平成23年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの財務諸表等に対する意見聴取について

○事務局より、資料4, 5の説明

【質疑応答・委員意見】 ※太字ゴシックが委員意見

- 最終利益に一番影響を及ぼしている運営費負担金及び交付金について、年々交付額が減っているが、算定基準はあるのか。

(事務局回答)

⇒法人作成の中期計画の収支計画に基づいて、中期計画期間分の負担金及び交付金額を予め算定することになっており、交付金は業務の効率化の考え方にに基づき、毎年度徐々に交付額を減額していくこととしている。また、負担金については徐々に減額するという考え方はとっていないが、人件費について各年度実績を反映させて再計算している。

(4) 報告事項

- 第二期中期目標(案)の修正について説明(資料6, 7)
- 今後の分科会の開催等について説明(資料8)